

第3次菊池市総合計画策定のための
市民アンケート調査 報告書

令和2年9月

菊池市 政策企画部 企画振興課

<目次>

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の方法	2
II. 調査結果	3
1. 回答者の属性について	4
2. 市民生活やまちづくりに関する満足度、重要度について	7
3. 菊池市のイメージと未来像について	10
4. 幸福度について	12
5. 郷土への愛着について	13
6. 定住意思について	14
7. まちづくり活動への市民参画について	17
8. SDGsについて	19
9. 自由コメント分析	20

I. 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、まちづくりの方向を示す総合的な指針である「第3次菊池市総合計画」を策定するにあたり、住民の皆さまの意見を反映すべく、まちの現状に対してどのように感じているか、またこれからのまちづくりに関してどのように考えているのかを把握するために実施。

2. 調査の方法

調査地域	菊池市全域
調査対象者	菊池市在住の18歳以上の方
調査期間	2020年8月17日(月)～2020年8月28日(金)
調査方法	郵送による発送・回収、インターネット調査の併用
調査項目	資料編98～106ページへ調査票掲載

【全体の配布数と有効回答数・回収率】

配布数 (A)	有効回答数 (B)	回収率 $\frac{(B)}{(A)}$
5,000	2,327	46.5%

【年代別の配布数と有効回答数・回収率】

年代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
配布数	800	900	900	900	900	600	—
回収数	247	315	358	469	540	387	11
回収率	30.9%	35.0%	39.8%	52.1%	60.0%	64.5%	—

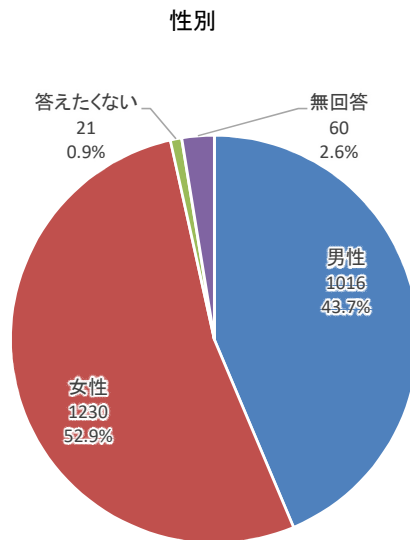
II. 調査結果

II. 調査結果

1. 回答者の属性について

(1) 性別

回答者の性別をみると、「男性」が43.7%、「女性」が52.9%であった。

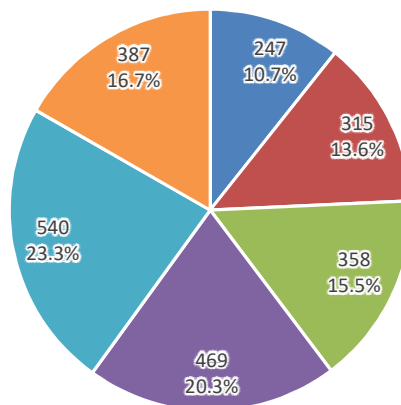


(2) 年齢

回答者の年齢についてみると、「60代」が23.3%と最も多く、次いで「50代」が20.3%、「70歳以上」が16.7%となっている。

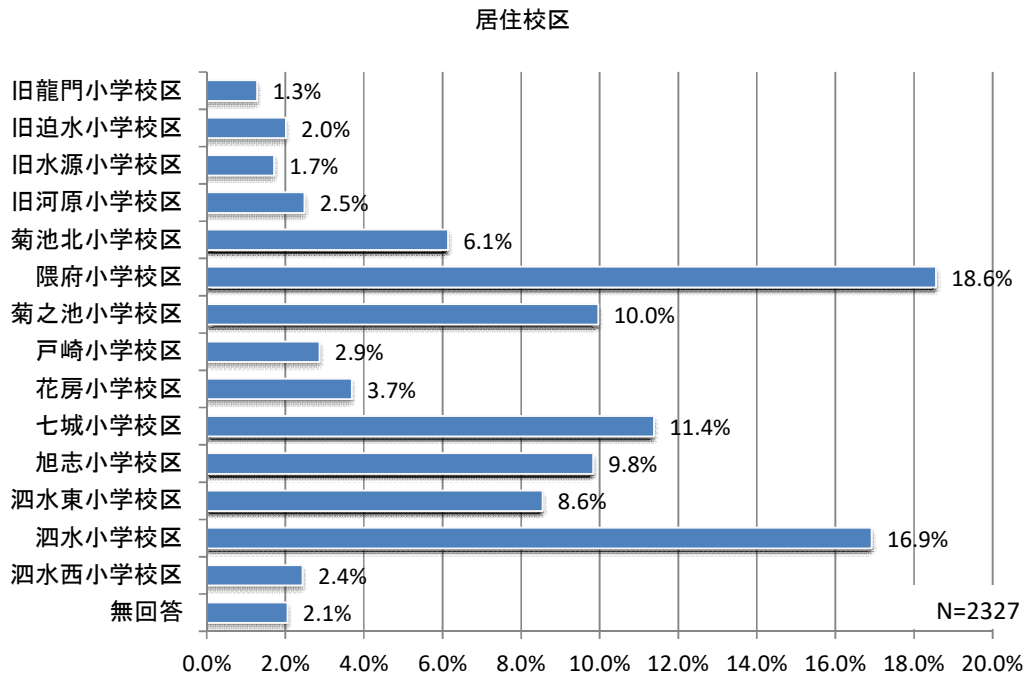
年齢

■ 20代以下 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70歳以上



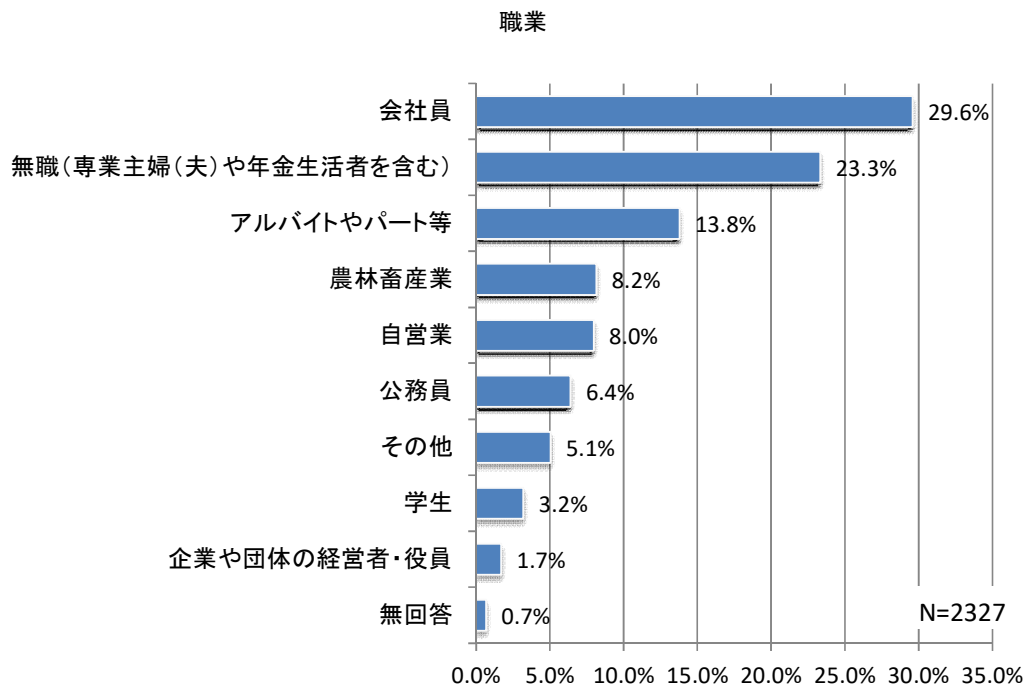
(3) 居住校区

回答者の居住校区をみると、「隈府小学校区」が18.6%と最も高く、ついで「泗水小学校区」が16.9%、「七城小学校区」が11.4%となっている。



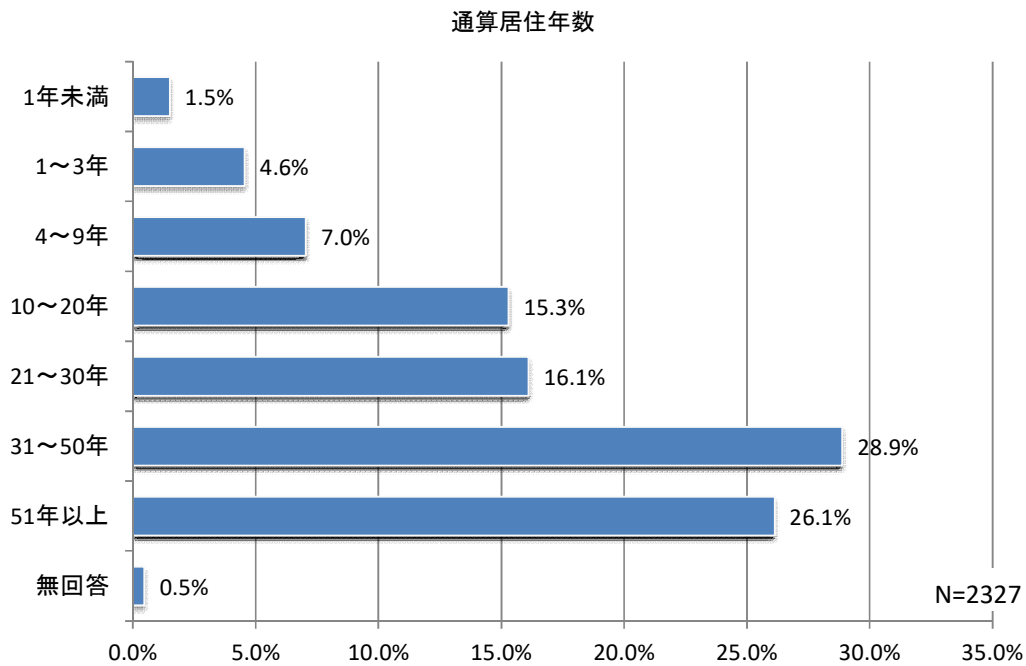
(4) 職業

回答者の職業についてみると、「会社員」が29.6%と最も多く、次いで「無職（専業主婦（夫）や年金生活者を含む）」が23.3%、「アルバイトやパート等」が13.8%となっている。



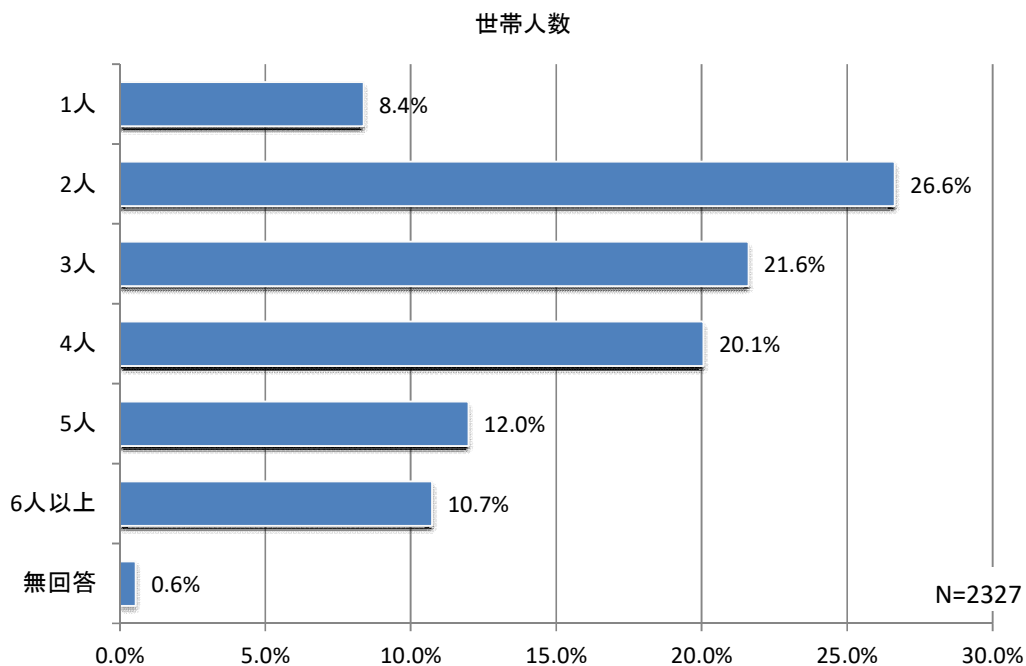
(5) 通算居住年数

菊池市への通算居住年数をみると、最も多いのが「31～50年」で28.9%を占める。菊池市に出生し、定住している市民が大半である一方で、10年未満が13.1%となっており、10年以内に市内に転入してきた市民は1割程度であることが分かる。



(6) 世帯人数

回答者の世帯人数をみると、「2人」が最も多く26.6%となっており、次いで「3人」の21.6%、「4人」の20.1%となっている。



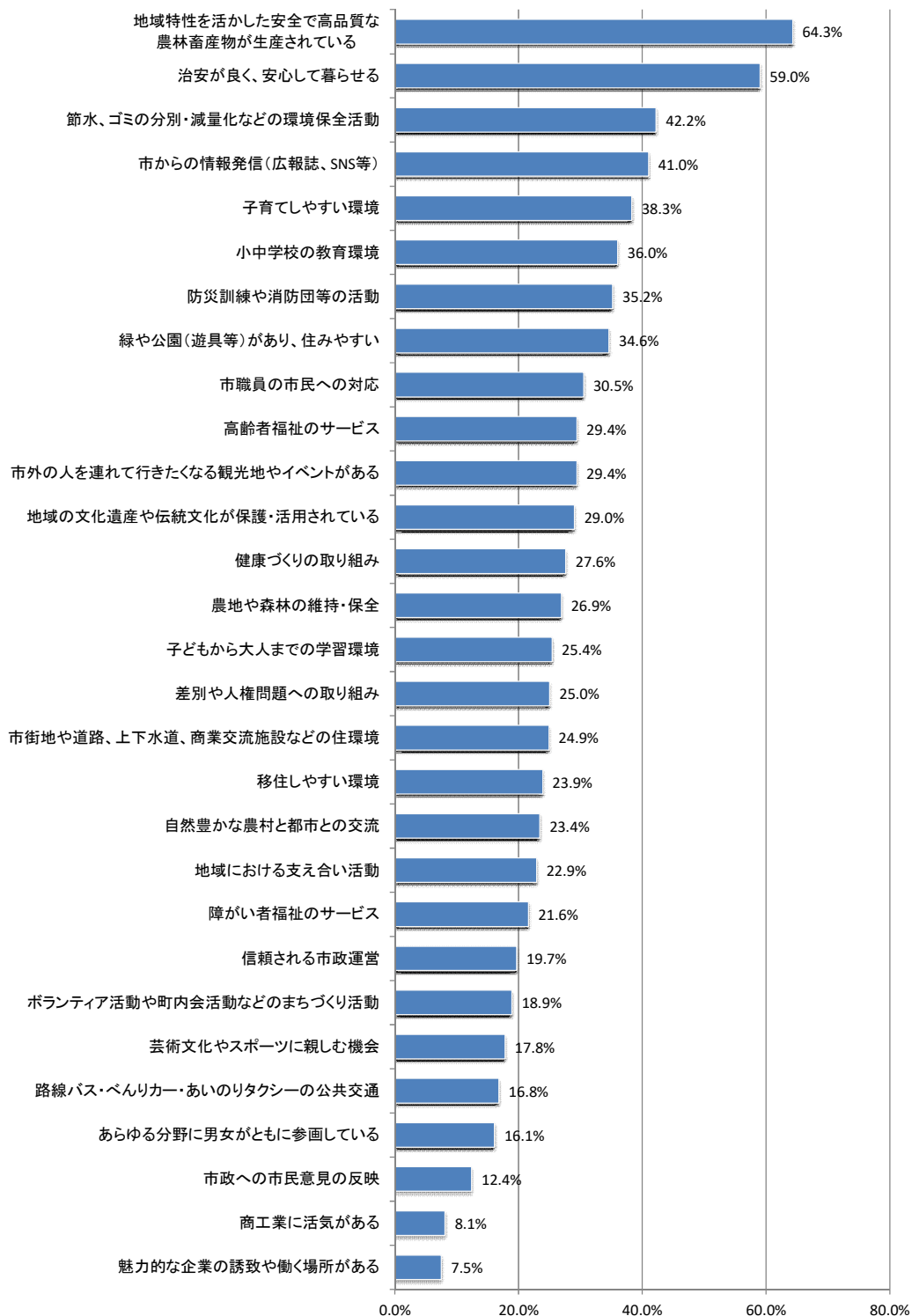
2. 市民生活やまちづくりに関する満足度、重要度について

(1) 市民生活やまちづくりに関する満足度（全体）

市民生活やまちづくりに関する項目の満足度*についてみると、「地域特性を活かした安全で高品質な農林畜産物が生産されている」が64.3%と最も高く、次いで「治安が良く、安心して暮らせる」が59.0%となっている。

※満足度は、各項目に対して「満足」「まあ満足」と答えた人の割合より算出。以下同様。

市民生活やまちづくりに関する満足度（〇は1つ）

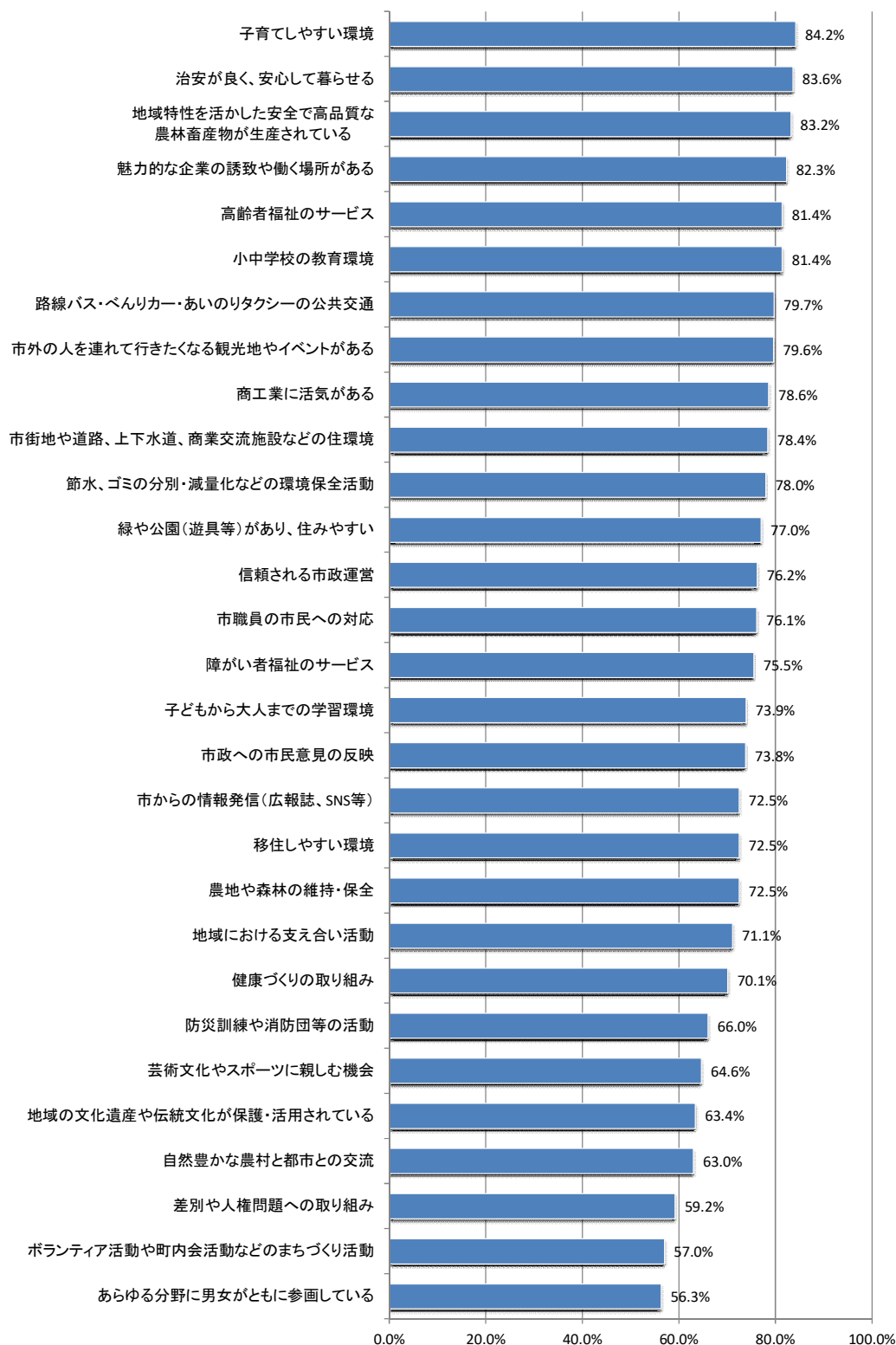


(2) 市民生活やまちづくりに関する今後の重要度（全体）

市民生活やまちづくりに関する項目の今後の重要度※についてみると、「子育てしやすい環境」が84.2%と最も高く、次いで「治安が良く、安心して暮らせる」が83.6%となっている。

※重要度は、各項目に対して「重要」「やや重要」と答えた人の割合より算出。以下同様。

市民生活やまちづくりに関する今後の重要度（〇は1つ）

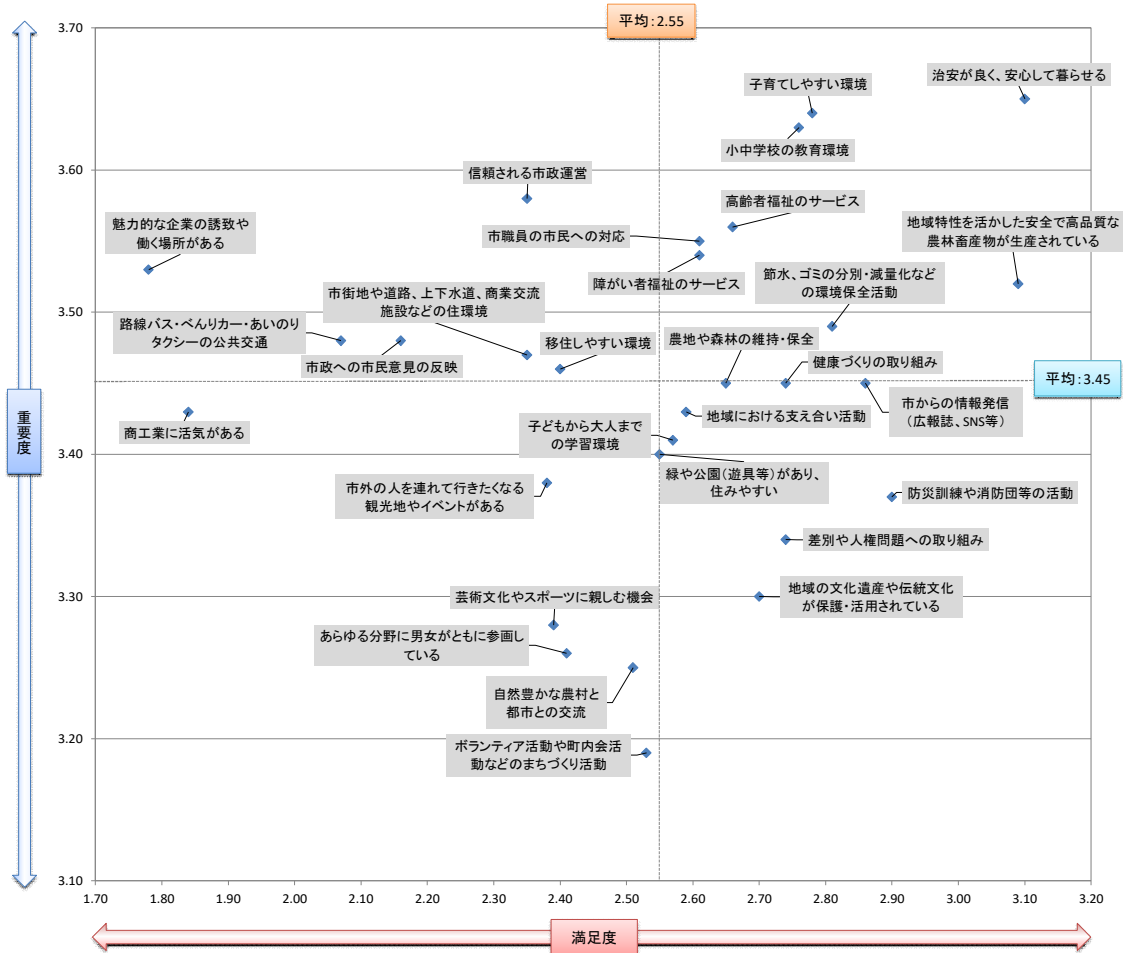


(3) 満足度と重要度の相関

市民生活やまちづくりに関する項目について、満足度と重要度を相関図で表してみると、満足度が高く重要度が高い項目には、「治安が良く、安心して暮らせる」「地域特性を活かした安全で高品質な農林畜産物が生産されている」「子育てしやすい環境」「小中学校の教育環境」などが位置付けられる。今後も維持、継続を図っていく必要性がある事項といえる。

満足度が低く、重要度が高い項目に、「魅力的な企業の誘致や働く場所がある」「路線バス・べんりカー・あいのりタクシーの公共交通」「商工業に活気がある」「市政への市民意見の反映」などが位置付けられており、今後力を入れていくべき事項といえる。

市民生活やまちづくりに関する項目の満足度と重要度の相関



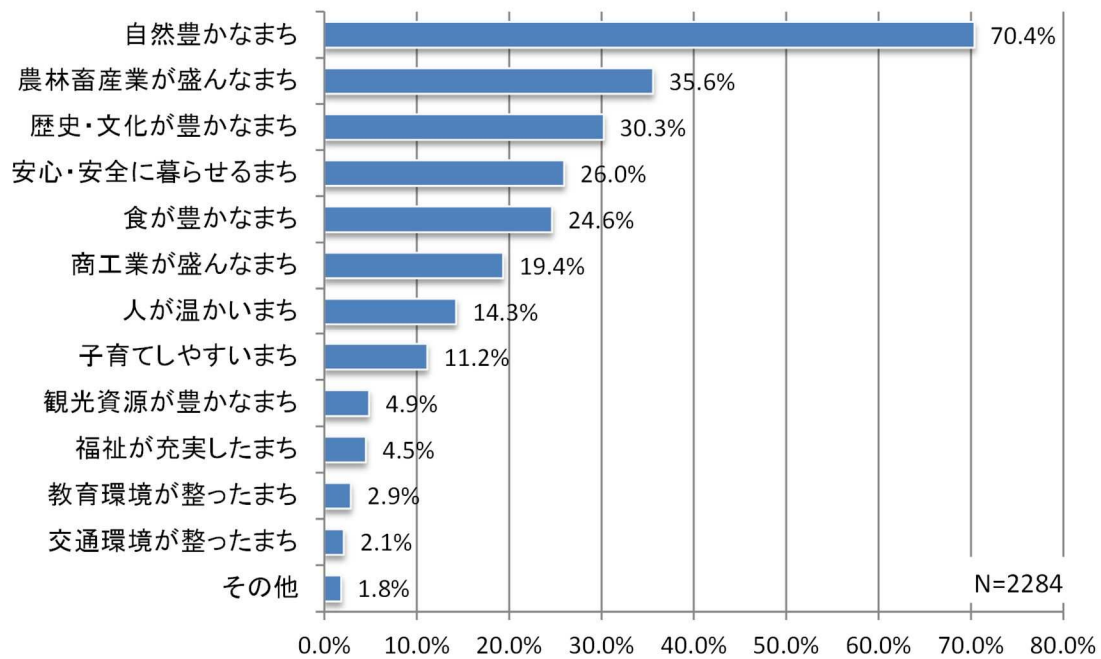
※上の図は、各項目の満足度と重要度について、回答者の分布を示したものの。各項目について回答者の満足度（「満足」4点、「やや満足」3点、「やや不満」2点、「不満」1点の4段階）と、重要度（「重要」4点、「やや重要」3点、「あまり重要でない」2点、「重要でない」1点の4段階）を得点化し、回答者の平均値を項目ごとに算出。（満足度、重要度の「どちらでもない」は得点より除外）

3. 菊池市のイメージと未来像について

(1) 菊池市のイメージについて (全体)

菊池市のイメージについてみると、「自然豊かなまち」が70.4%と最も高く、次いで「農林畜産物業が盛んなまち」が35.6%、「歴史・文化が豊かなまち」が30.3%となった。また、現行計画の将来像でもある「安心・安全に暮らせるまち」は26.0%となっている。

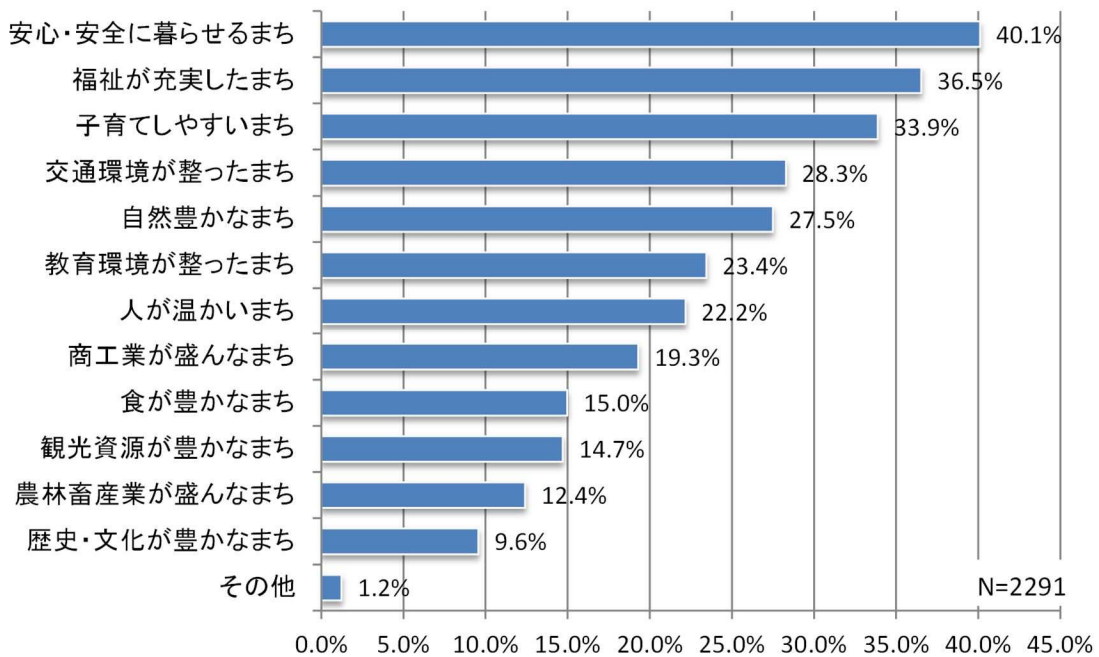
菊池市について、どのようなイメージを持っているか (〇は3つまで)



(2) 菊池市の未来像（全体）

市民が求める菊池市の未来像は、「安心・安全に暮らせるまち」が40.1%、次いで「福祉が充実したまち」の36.5%、「子育てしやすいまち」が33.9%となっている。

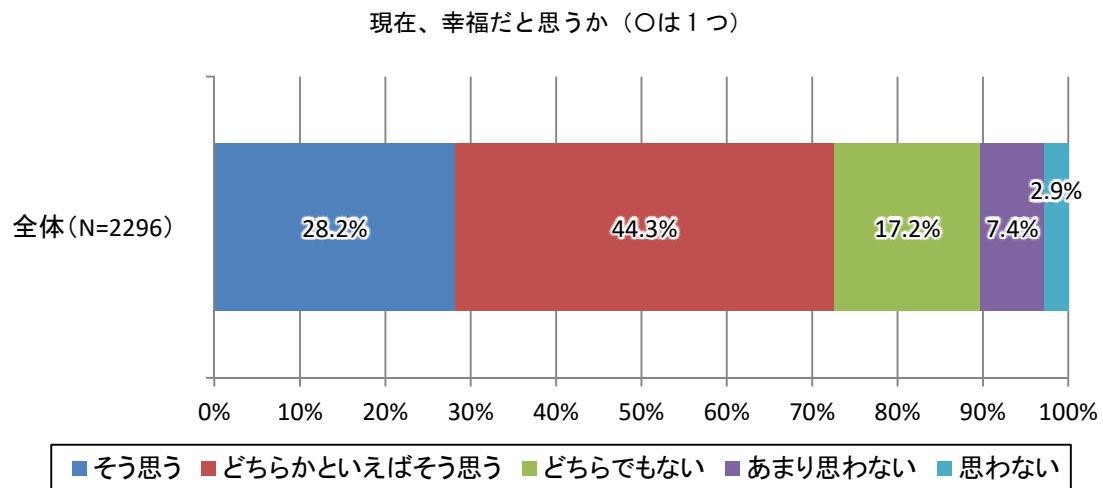
今後の菊池市を、どのようなまちにしたいか（〇は3つまで）



4. 幸福度について

幸福度について（全体）

現在、幸福だと思うかについてみると、「どちらかといえばそう思う」が44.3%と最も高く、次いで「そう思う」が28.2%となっており、“そう思う”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）という回答が72.5%となっている。

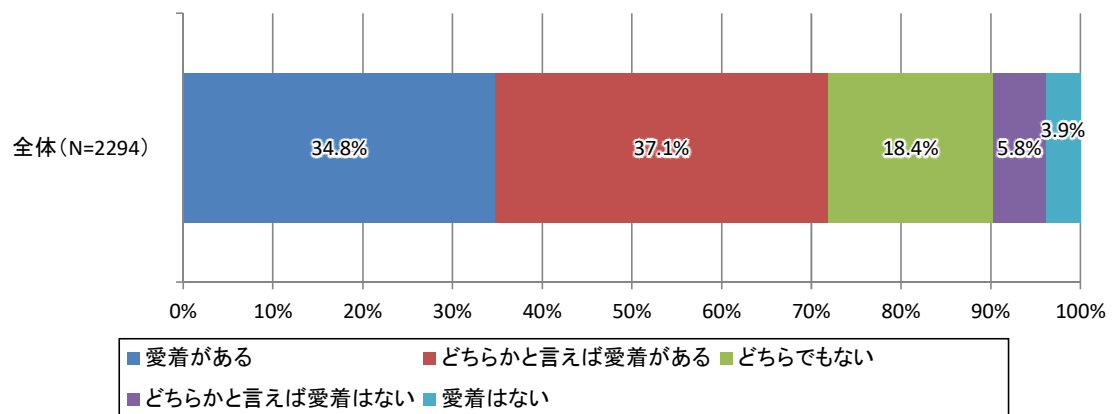


5. 郷土への愛着について

郷土への愛着について（全体）

菊池市に愛着を感じているかについてみると、「どちらかといえば愛着がある」が37.1%と最も高く、次いで「愛着がある」が34.8%となっており、“愛着がある”（「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」の合計）という回答が71.9%となっている。

菊池市に愛着を感じているか（〇は1つ）

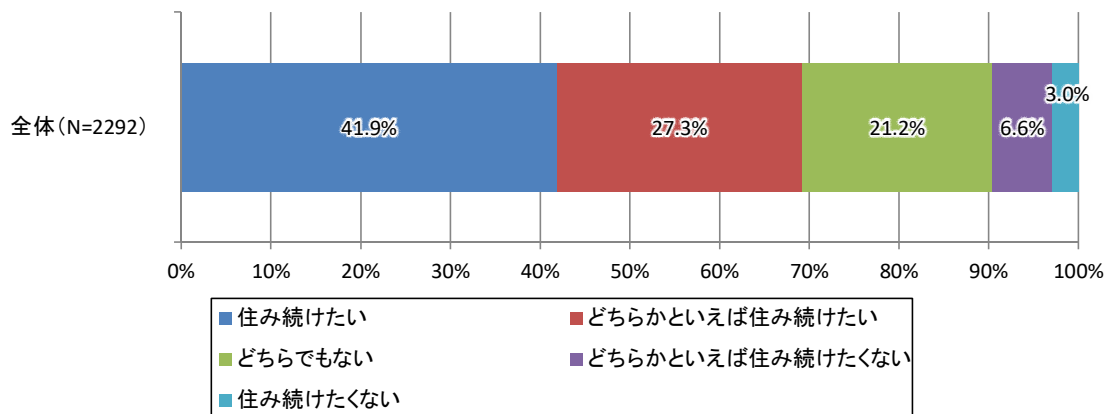


6. 定住意思について

(1) 定住意思について（全体）

今後も菊池市に住み続けたいかについてみると、「住み続けたい」が41.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が27.3%となっており、“住み続けたい”（「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）という回答が69.2%となっている。

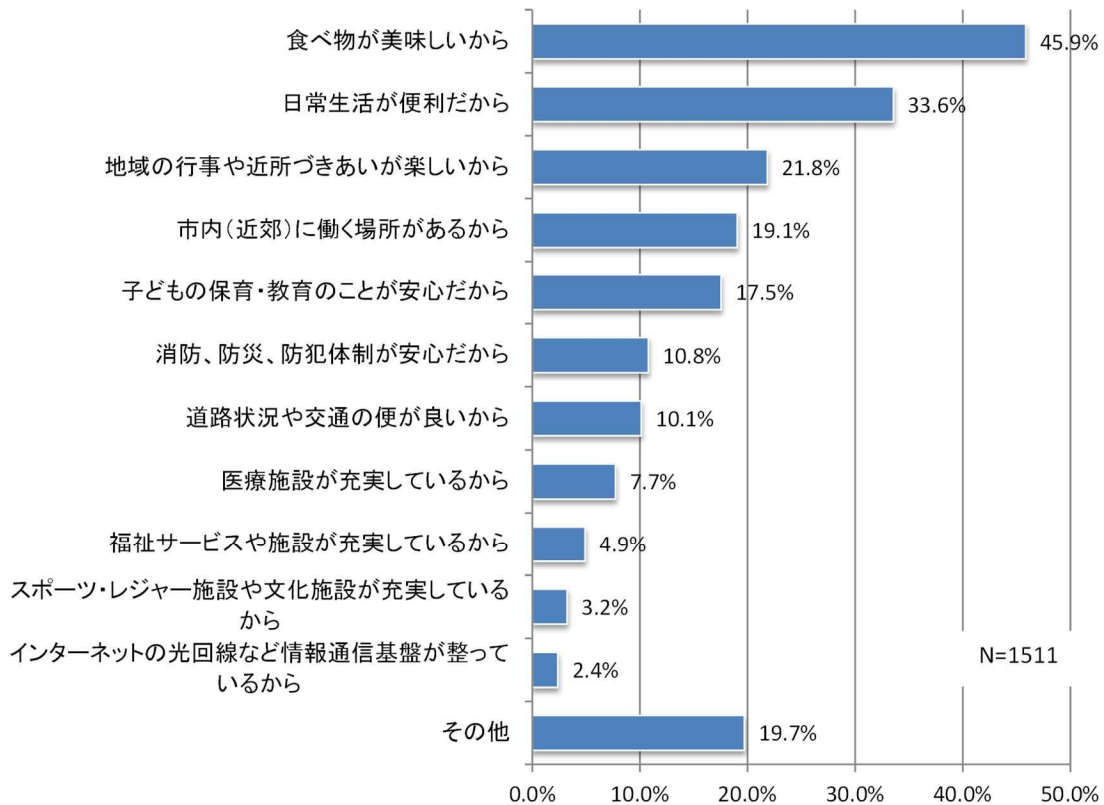
今後も菊池市に住み続けたいか（○は1つ）



(2) “住み続けたい”という回答の理由について（全体）

今後も菊池市に“住み続けたい”（「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）という回答の理由についてみると、「食べ物が美味しいから」が45.9%と最も高く、次いで「日常生活が便利だから」が33.6%、「地域の行事や近所づきあいが楽しいから」が21.8%となっている。

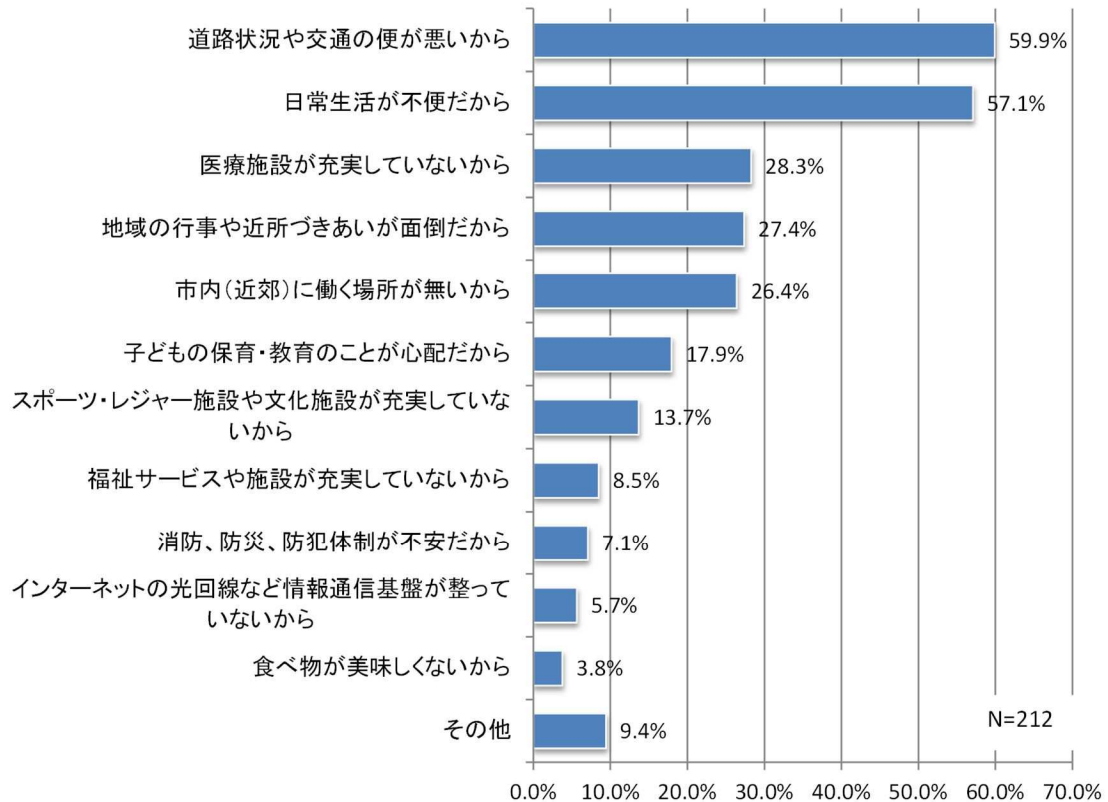
“住み続けたい”と回答した主な理由（〇は3つまで）



(3) “住み続けたくない” という回答の理由について (全体)

菊池市に“住み続けたくない”(「住み続けたくない」と「どちらかといえば住み続けたくない」の合計) という回答の理由についてみると、「道路状況や交通の便が悪いから」が 59.9%と最も高く、次いで「日常生活が不便だから」が 57.1%となっている。

“住み続けたくない” と回答した主な理由 (〇は3つまで)

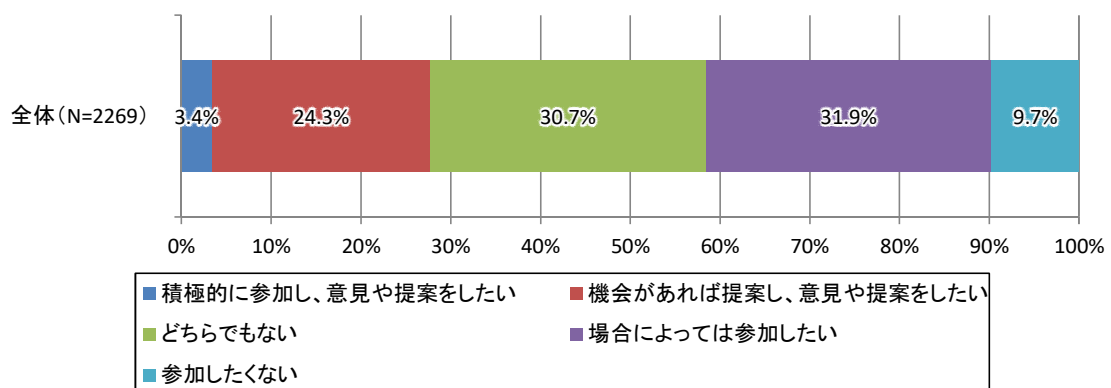


7. 市民参画について

(1) 市民参画について (全体)

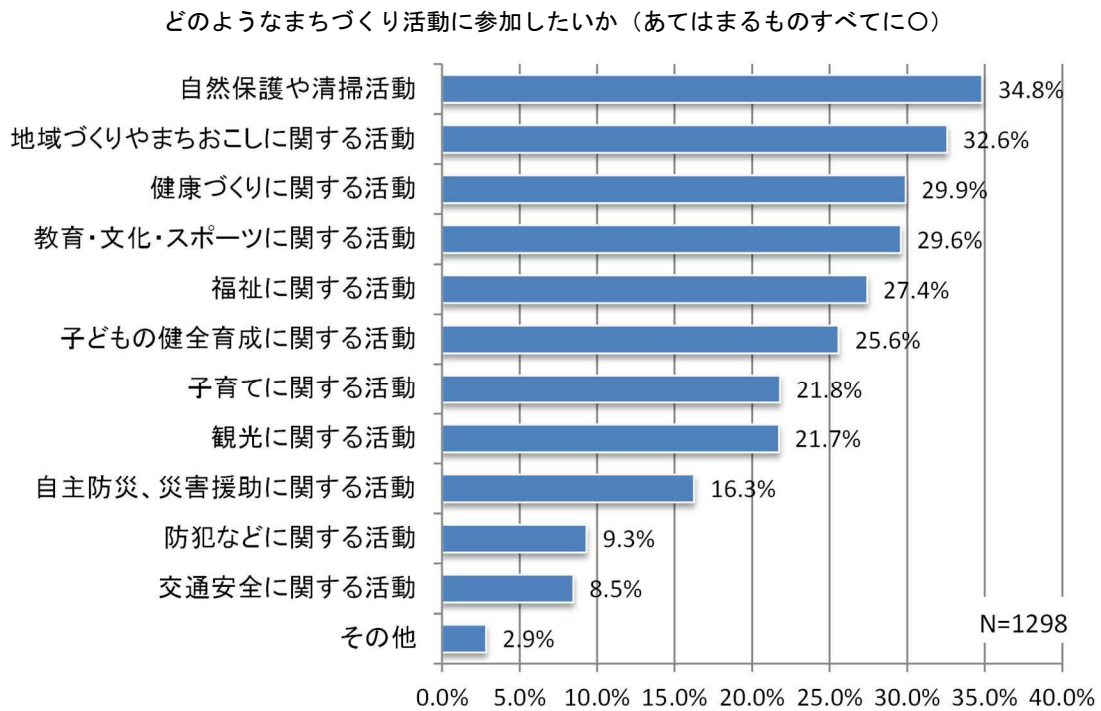
まちづくり活動にどの程度参加したいかについてみると、「場合によっては参加したい」が31.9%と最も高く、次いで「どちらでもない」が30.7%となった。まちづくり活動に“参加したい”（「積極的に参加し、意見や提案をしたい」と「機会があれば提案し、意見や提案をしたい」と「場合によっては参加したい」の合計）という回答は59.6%となった。

まちづくり活動にどの程度参加したいか (〇は1つ)



(2) 参加したいまちづくり活動（全体）

まちづくり活動に“参加したい”という回答者がどのようなまちづくり活動に参加したいかをみると、「自然保護や清掃活動」が34.8%と最も高く、「地域づくりやまちおこしに関する活動」が32.6%、「健康づくりに関する活動」が29.9%と続いた。



9. 自由コメント分析

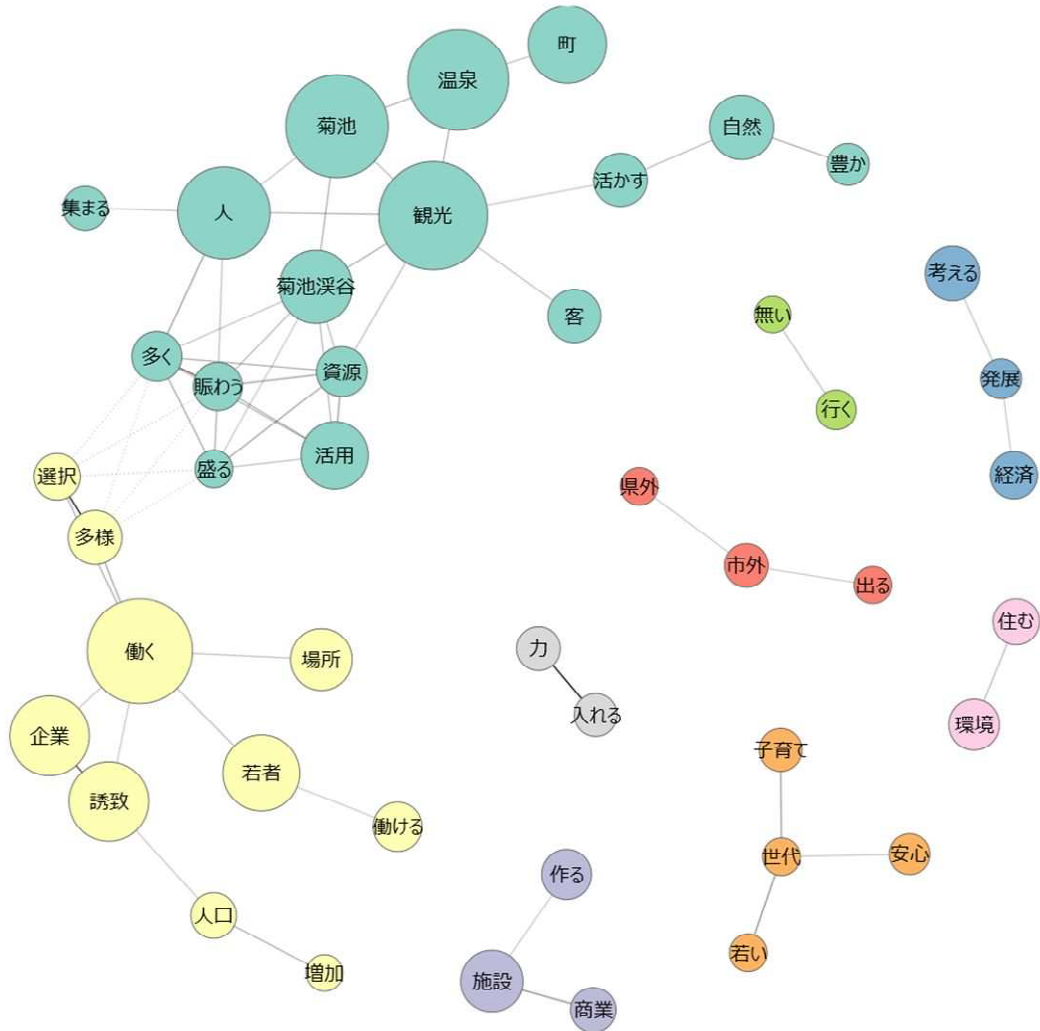
住民アンケートにおいて、以下の7項目について得られた自由コメントについて、キーワードの関係性をみる共起ネットワーク分析を行った。

(1) 分野別の理想とする将来像	
①	産業と経済の分野
②	教育と文化の分野
③	保健と福祉の分野
④	自然環境と安全の分野
⑤	都市基盤と生活基盤の分野
⑥	政策推進の分野
(2) SDGs 達成に向けて実施している取り組み	

共起ネットワーク分析とは、出現パターンの似通った単語、単語同士の結びつきの程度が高い単語を線で結んだネットワークを描き、単語同士の繋がりを把握することができるものである。

(1) 分野別の理想とする将来像

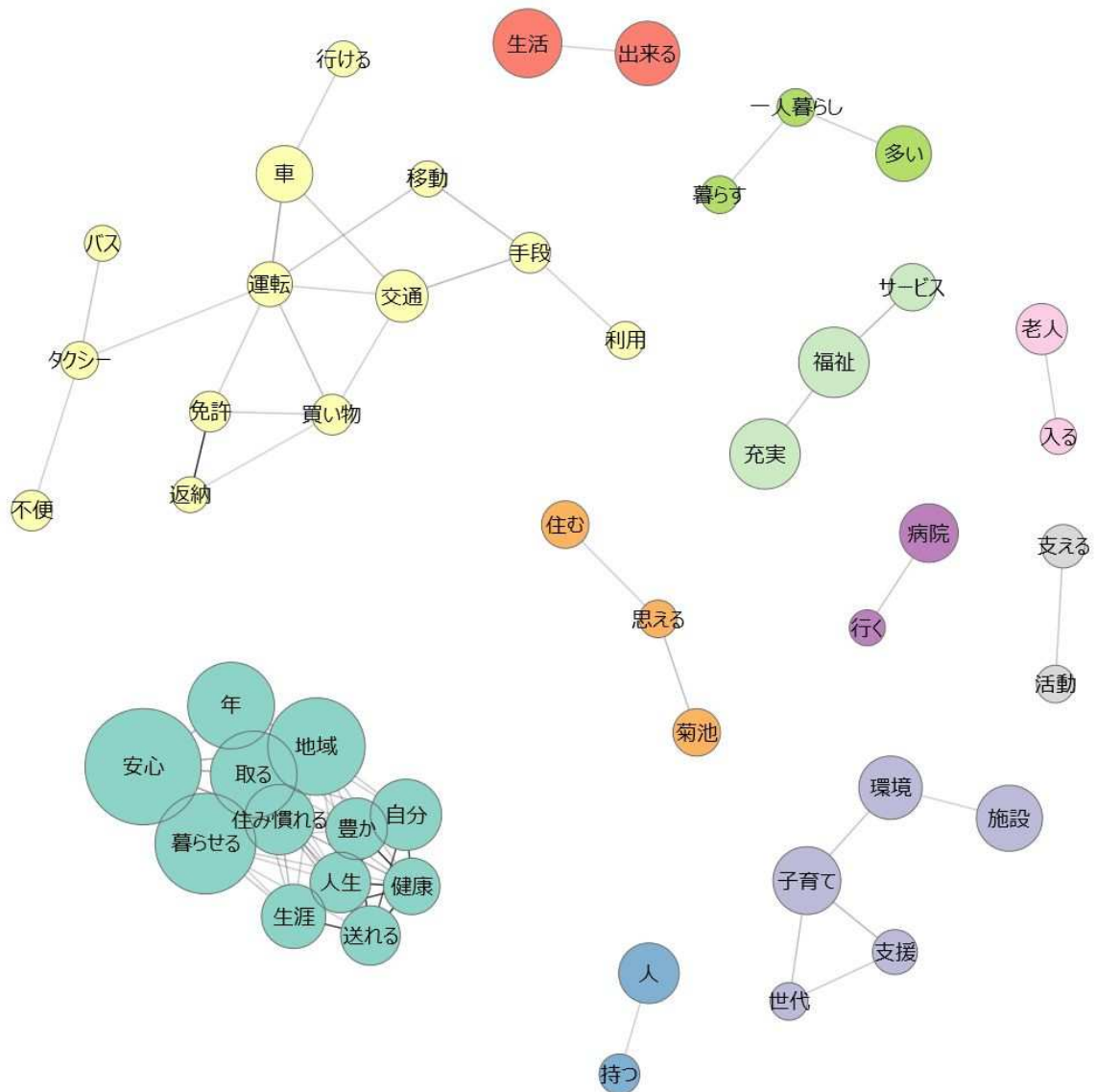
①産業と経済の分野



単語から導かれるまちの姿

- 地域資源を活用した観光のまちづくり
- 多様な働き方が選べる雇用があるまち
- 若年層が安心して子育てできるまち
- 企業や商業施設の誘致で活気があるまち

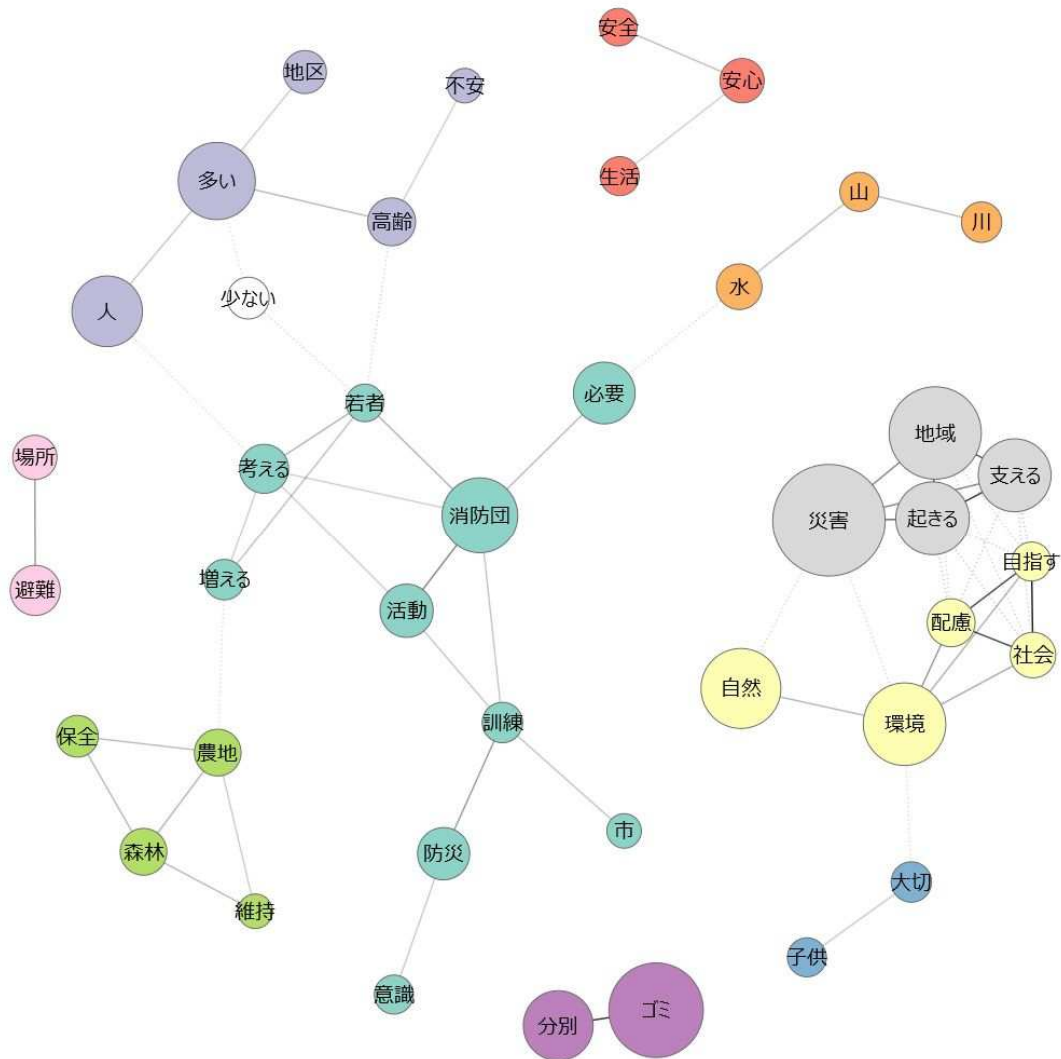
③保健と福祉の分野



単語から導かれるまちの姿

- 住み慣れた地域で生涯暮らせるまち
- 交通網が充実して便利に買い物ができるまち
- 福祉サービスが充実したまち
- 子育て環境が充実したまち

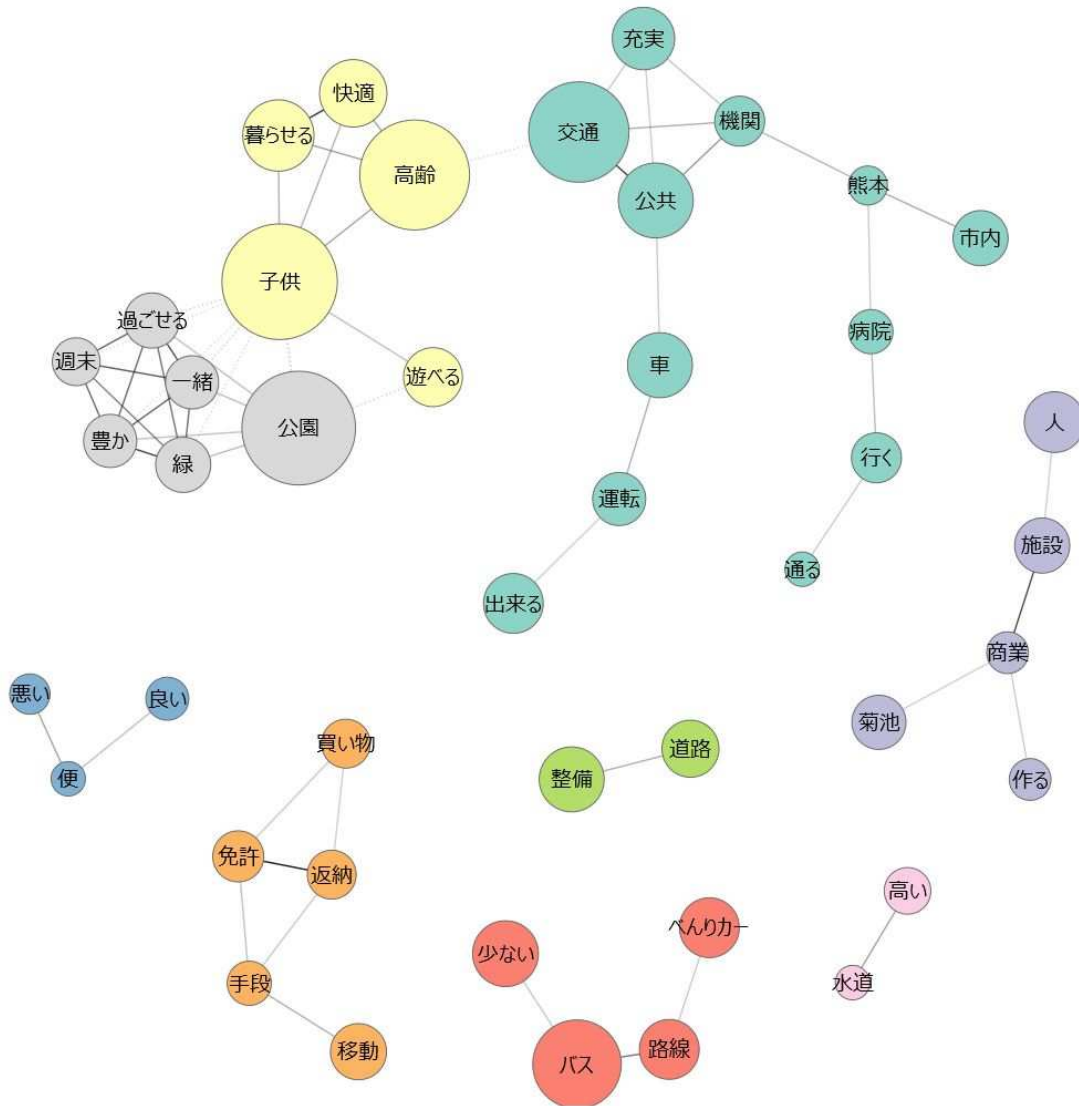
④自然環境と安全の分野について



単語から導かれるまちの姿

- 消防団が活動しやすい環境があるまち
- 自然環境に配慮したまち
- 地域で支えあう防災のまち
- 高齢化への対策が充実したまち
- 農地や山林が保全されたまち

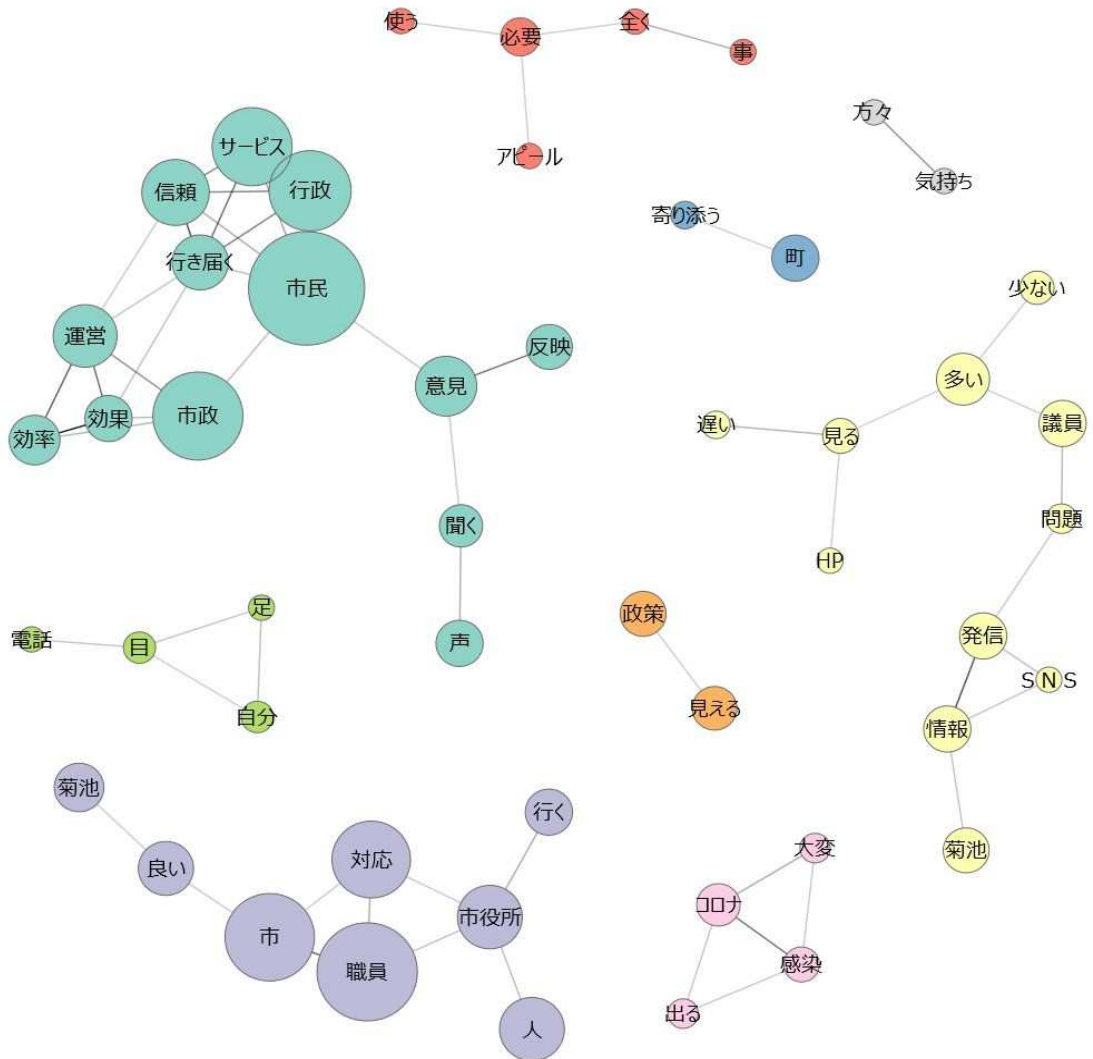
⑤都市基盤と生活基盤の分野について



単語から導かれるまちの姿

- 交通機関が充実したまち
- 子どもから高齢者まで快適に暮らせるまち
- 免許を返納しても買い物が便利なまち
- 商業施設があるまち

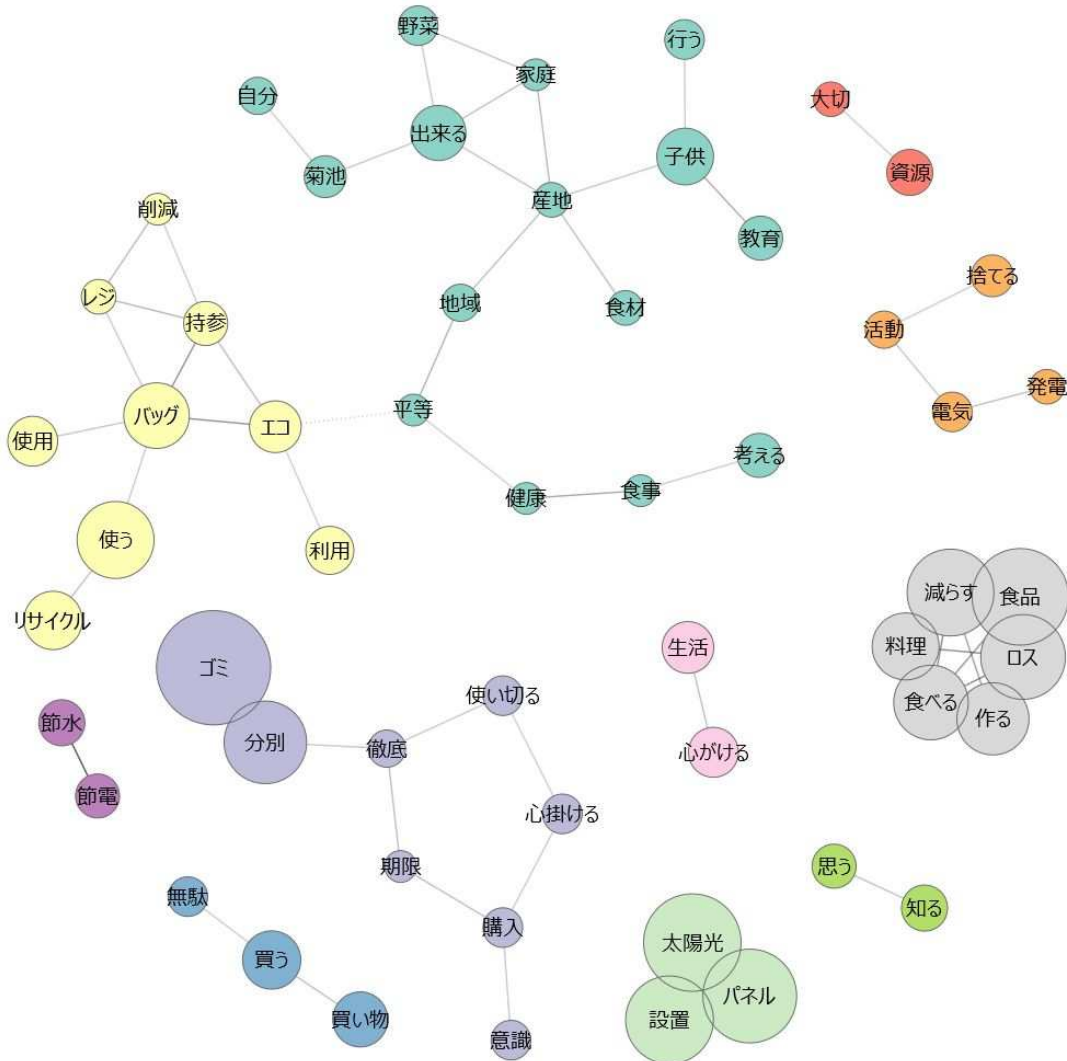
⑥政策推進の分野について



単語から導かれるまちの姿

- 市民の声が市政に反映されるまち
- 効率的で効果的な市政運営がなされるまち
- 積極的に情報発信するまち
- 市民への対応が充実したまち
- 感染症対策に積極的に取り組むまち

(2) SDGs達成に向けて実施している取り組み



単語から導かれる個人の取り組み内容

- 地産地消の取り組み
- ごみの削減
- 消費者としての責任
- 食品廃棄の削減